

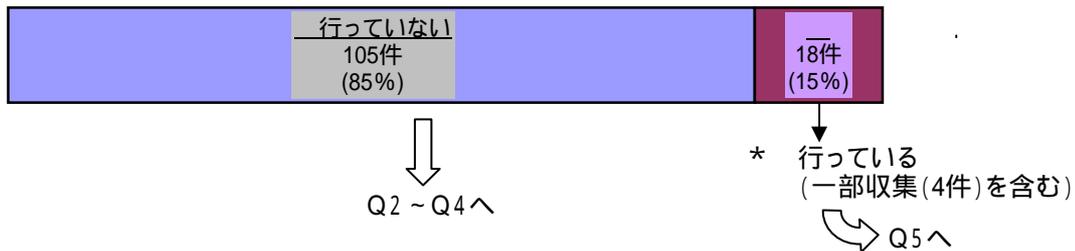
H23年9月 自治体アンケートまとめ

対象自治体:人口5万人以上でプラスチック製容器包装の引取を容り協会に申請していない自治体(全国)

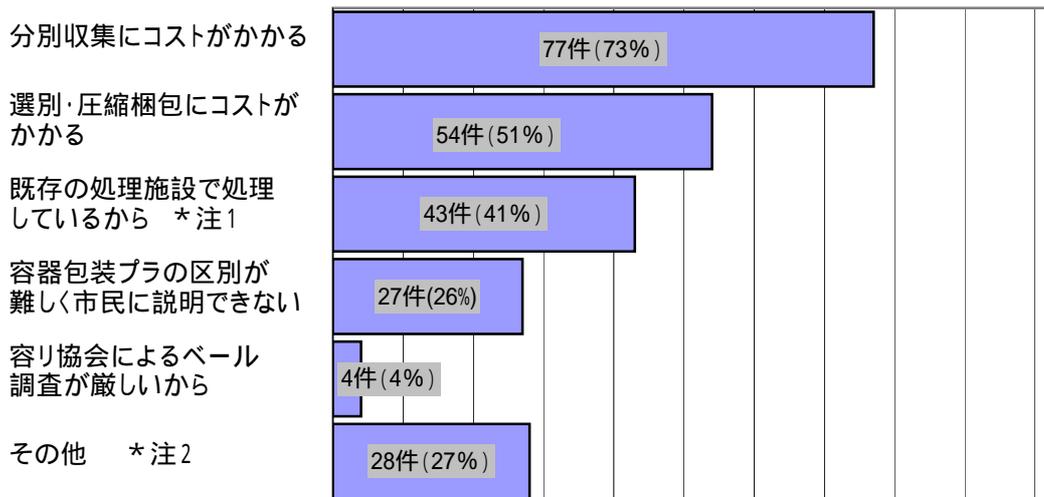
送信自治体総数	203 件	100%
返信総数	123 件	60%
未返信数	81 件	40%

回答率 60%

Q1: 現在プラスチック製容器包装(PETボトル・白色トレイを除く)の分別収集を行っていますか。



Q2: プラスチック製容器包装の分別収集を行っていない理由は何ですか。(複数回答可)



*注1: 既存の処理施設で処理している 処理の方法 (43件中)

サーマルリサイクル	12 件	焼却処理	12 件
ガス化溶融	4 件	RDF燃料化	3 件
溶融	3 件	その他	3 件

*注2: その他の理由 (28件中)

環境整備中・検討中	6 件
中間処理や再資源化の施設・手段が無い	9 件
中間処理や保管のスペース不足	4 件
自治体の処理計画に沿わない	4 件
その他・複合	5 件
・市民の負担・処理と費用の効率etc...	

*事務局注:
中間処理施設は必ずしも自治体で所有する必要はなく、民間業者に委託する方法もあります

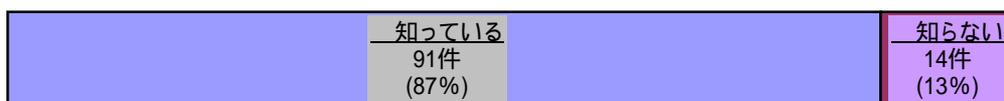
Q3: 今後プラスチック製容器包装の分別収集を実施する予定はありますか



*注3: 平成～年度から開始予定 (12件)

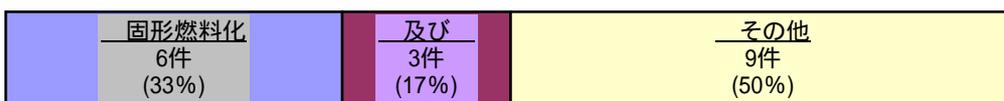
平成23年度	1件	平成27年度	1件
平成24年度	4件	平成28年度	1件
平成25年度	1件	平成29年度	1件
平成26年度	2件		

Q4: 「再商品化合理化拠出金制度」をご存知ですか。



Q5: 分別収集したプラスチック製容器包装をどのように処理していますか。

またその理由をお教えてください。(複数回答可) (Q1で「現在プラスチック製容器包装の分別収集を行っている」と回答した方のみ)



*注4: 固形燃料化 (6件中)

理由:

コストが安い	5件
既存設備がある	0件
その他	1件

*注5: 固形燃料化とその他の手法を併用 (3件中)

処理方法: マテリアルリサイクル 3件

理由:

コストが安い	0件
既存設備がある	2件
その他	2件

*注6: その他 (9件中)

処理方法:

マテリアルリサイクル	4件	サーマルリサイクル	2件
マテリアル及びケミカルリサイクル	1件	売却	1件
マテリアル及びサーマルリサイクル	1件		

理由: コストが安い、リサイクルルートを先に確保している、熱量・売却歳入の確保の為 etc...

Q6: その他、容器包装リサイクル法に対してご意見をお聞かせください。(まとめ)

- ・ 対象品目を拡大して欲しい。
- ・ 収集・中間処理にかかる費用の自治体負担の軽減を望む。
- ・ 商品価格への費用の内部化や、生産者の拡大生産者責任を明確化し、費用負担を求める。そのことによるリデュース・大量消費の抑制。
- ・ 税負担を減らし、排出の少ない市民の不公平感を減らす。
- ・ 容器包装製造事業者によるリデュースの取り組み。リデュースのインセンティブの働く仕組みづくり。
- ・ 市民にとって分かりやすい表示の明確化・義務化。
- ・ 事業者による容器設計や独自リサイクルルート、国や県主導の広域収集ルートの確立による効率的で高度なりサイクルの確立。
- ・ 市民に分かりやすい制度設計、分別基準を作って欲しい。
- ・ エネルギーへの転換(サーマルリサイクル)の再評価。
- ・ 自治体による再商品化手法の選択と、それに適した分別基準適合物の作成。